

## 福岡県立三大学における「ワンヘルス教育」について議論が交わされました!!

令和4年9月15日（木）、福岡県議会9月定例会の自民党代表質問において、高橋義彦議員が「福岡県立三大学におけるワンヘルス教育」に関して、服部誠太郎知事に質され、知事は以下のように答弁されました。



### 【質問1】福岡県立三大学におけるワンヘルス教育の推進に関する所見について

福岡県には、県が設立した三つの大学があり、三大学の資源を生かしたワンヘルス教育の推進を提案する。

知事に、三大学におけるワンヘルス教育の推進についての所見を伺います。

### 【答 弁】

福岡県立三大学には、地域医療や食育などを通じ、県民の健康や生活の質の向上に取り組む歯科医療、看護、栄養、福祉の各分野、また、生物多様性の理解などを通じ、持続可能な社会づくりに取り組む環境分野などにおいて、ワンヘルスの推進に関連した教育研究資源があります。

さらに、ワンヘルスのような複数の教育研究分野をまたぐ課題を、グローバルに、かつ分野にとらわれず俯瞰的に考える教育システムも、福岡女子大学において構築されているところでもあります。

このような特色ある資源を生かし、三大学が使命の一つである地域社会への貢献につながる「ワンヘルス教育」に取り組むことは、本県のワンヘルスの推進を担う人材育成の観点から、有意義であると考えております。

### 【質問2】福岡県立三大学におけるワンヘルス教育の実現に向けた課題と県の関わりについて

福岡県議会によるハワイ大学におけるワンヘルス教育に関する調査の成果も踏まえ、福岡県立三大学とハワイ大学との交流を進めてはいかがでしょうか。

さらに、三大学におけるワンヘルス教育の実現に向けて、どのような課題があり、県としてどう関わっていくのか、知事の見解を求めます。

### 【答 弁】

福岡県議会におかれましては、ポストコロナを見据えた交流を深めるため、同州に友好訪問団を派遣され、ハワイ大学での視察をはじめとする有意義な成果を得られました。

また、私のイゲ州知事あての親書を秋田訪問団団長から直接お渡しいただき、ハワイ州訪問がかなわない中でも両県州との友好関係を深めることができたものと考えております。

先月、県議会友好訪問団は、ハワイ大学において開発されました分野横断型のワンヘルス教育プログラムの説明を受けられるとともに、担当教授や学生と意見を交換されたと伺っております。

このハワイ大学のプログラムは、調査や実習による実践的な課題解決能力を養成するもので、大学における教育の推進にあたって参考となる内容であると認識しております。

なお、説明を担当されましたサンドラ・チャン教授は、11月のFAVA大会で講演を行われる予定でございます。ワンヘルス教育に携わる方と接する貴重な機会となるものと、期待をしているところであります。

さて、新たな教育に取り組む際は、社会状況、あるいは人材の受入先や学生の皆さんのニーズなどに基づきまして、育成する人材像を明確にする必要があります。

そのうえで、その人材に必要な能力、知識、技術の習得が可能なプログラム編成を検討し、併せて、プログラムの実施に必要な三大学が持つ人的・物的資源の活用や三大学にはない資源を確保するための方策について、具体的に検討を行う必要があります。

このため、先行するハワイ大学との交流も含め、三大学においてワンヘルス教育を実施していくための方策について、三大学とともに調査や検討を進めてまいりたいと考えております。



### 【質問3】「FAVA日本事務所」の設置場所について

アジア、そして世界におけるワンヘルス実践活動をリードする「FAVA日本事務所」の設置場所について、知事はどのような見解と見通しを持っているのか、その所信をお示し願います。

### 【答 弁】

この事務所は、ワンヘルスに関する、アジア・オセアニア各国の活動情報の収集と共有、FAVAや各国の獣医師会の大会等におけるプログラムの企画協力、国際セミナーの開催などの活動を行うこととされております。また、アジア太平洋地域における開発途上国の居住環境の改善や気候変動対策などに取り組みます国連ハビタット福岡本部と連携した取組も検討されているところあります。

福岡県といたしましては、こうしたことを念頭において、FAVA日本事務所の活動や取組が円滑に行える場所を検討の上、できるだけ早く日本獣医師会に対しご提案したいと考えております。

2022年9月20日  
福岡ワンヘルス協議会・事務局